

プロジェクトマネジメント プロフェッショナルスクール

2017年度 科目一覧表
産業技術大学院大学
情報アーキテクチャ専攻

科目一覧

■ プロジェクトマネジメント入門P3
■ PMP受験対策講座P4
■ プロジェクト・リスク・マネジメントP5
■ イノベーションのための アジャイルプロジェクトマネジメントの基礎P6
■ リアルタイムPMシミュレータP7
■ PMBOK徹底読み解きP8
■ 受注プロジェクトの管理P9
■ システム開発プロジェクト管理（PM特論2）P10
■ 実践プロジェクトマネジメント演習P11
■ 事例研究P12
■ プロジェクトマネジメントのツールと技法（PM特論3）P13
■ プロジェクト・マネジャーのキャリアデザインP14
■ IT経営プロジェクトP15
■ パーソナルスキル1 / コーチング&メンタリングP16
■ パーソナルスキル2 / コミュニケーション・ネゴシエーション	...P17
■ 情報処理技術者プロジェクトマネージャ試験対策コースP18

プロジェクトマネジメント入門

PMBOKガイド®第5版」を基準に、プロジェクトの立ち上げから、終結までのプロセスに沿って、プロジェクトマネジメントの基礎を学びます。さらに、プロジェクト事例を使っ
ての演習問題により、実際のプロジェクトに即した中で、理解を深め基本事項の定着を図っていきます。

回数	内容
第1日	プロジェクトマネジメントについて：プロジェクトとは何か、プロジェクトマネジメント、プロジェクトマネジメントの歴史について学ぶ。 プロジェクトの立ち上げ：プロジェクト憲章(企画)の作成、ステークホルダーの特定について学ぶ。 演習：プロジェクト事例から、ステークホルダーの特定と分析を行う。
	プロジェクトの計画：①スコープ定義、②WBS：ワーク・ブレイクダウン・ストラクチャーについて学ぶ。 演習：プロジェクト事例からWBSを作成する。
	プロジェクトの計画：③スケジュール作成(所要期間見積り、作業順序の設定、クリティカルパス)について学ぶ。 演習：プロジェクト事例からスケジュールを作成する。
	プロジェクトの計画：④資源の割り当て、⑤コスト計画、⑥調達について学ぶ。
第2日	プロジェクトの計画：⑦リスクマネジメント、⑧品質計画について学ぶ。 演習：プロジェクト事例からリスクを識別し対応を検討する。
	プロジェクトの計画：⑨コミュニケーション、⑩ステークホルダーマネジメントについて学ぶ。演習：プロジェクト事例からプロジェクト計画書を作成する。
	プロジェクトの実行：プロジェクトチームの運営、進捗管理(EVM：アーンドバリューマネジメント)、変更管理の方法について学ぶ。 演習：プロジェクト事例から変更要求への対応を検討する。
	プロジェクトの実行：プロジェクト実行中の問題管理、課題管理について学ぶ。 演習：プロジェクト事例から課題発生への対応を検討する。 プロジェクトの終結：プロジェクトの終結の方法について学ぶ。

開講日

2017/8/19(土),8/20(日)

開始～終了時

10:00～18:00 (各7時間)

合計学習時間(PDU申請可)

14時間 リーダシップ:3
テクニカル:8
ストラテジ:3

費用(受講者選考手数料除く)

17,920円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントの基礎を実務の流れに沿って分かりやすく解説します。
始めてプロジェクトマネジメントを学ぶ人がプロジェクトマネジメントの基本を学ぶことができます。

講師

三好 きよみ

PMP受験対策講座

本研修はプロジェクトマネジメントの知識を、実務の流れに沿って体系的に学ぶことで、PMP試験に合格すること目的としています。ただの試験対策や準備だけでなく、PMBOK®ガイドの内容を実務で活用できる能力を身に付けることを目的としています。

回数	内容
第1日	<p>PMP試験概要：プロジェクトマネジメントの世界、日本の標準としてどのようなものがあるか、また世界のデファクト標準となっているPMIのPMBOK®ガイドやPMP試験について解説する。</p> <p>プロジェクトとはなにかその定義を明確にして、さらに企業活動におけるプロジェクトの位置づけやプロジェクトマネジャの役割について解説する。</p> <p>プロジェクトの立上げ：プロジェクトがどのように選定され、立上の際、どのようなプロジェクトマネジメントプロセスが必要かを学ぶ。</p> <p>プロジェクトマネジメント計画とスコープ定義：プロジェクトマネジメント計画書の構成や記載項目を理解する。</p>
第2日	<p>WBSの作成と品質計画：まず、WBSについてその特徴や作成のルールなどについて学んだのち、プロジェクトスコープをブレイクダウンしてWBSを作成する方法について理解する。</p> <p>リスク管理：リスクの特定、分析、対応策といったマネジメントの基本プロセスを学び、プロジェクト計画策定時のリスクマネジメントの目的や重要性を理解する。</p> <p>アクティビティの定義とスケジュール管理：WBSのワークパッケージをアクティビティに展開し、依存関係や作業期間を考慮したアクティビティの計画を作成する。</p> <p>資源計画とコスト見積り：リスク対応も含んで整理されたアクティビティに対して要員をアサインする。</p>
第3日	<p>プロジェクト実行とチームマネジメント進捗管理：作成したプロジェクト計画に基づいてプロジェクトを実施する方法や、チームマネジメントについて学ぶ。</p> <p>プロジェクトの実績測定とコントロール：プロジェクトの進捗情報を把握するための実績情報の収集方法やその分析方法について学ぶ。</p> <p>進ちょく・変更管理：プロジェクト実施中の進捗管理の方法や、変更管理プロセスについて学ぶ。</p> <p>作業結果管理とプロジェクトの終結：プロジェクトマネジャがプロジェクトの終了時に行う作業として、プロジェクトの移行計画書の作成や、完了基準の策定を学ぶ</p> <p>プロフェッショナルとしての責任：PMI®倫理・職務規定をもとに、PMPやPMI関係者に求められるプロジェクトマネジャとしての高い行動規範について理解する。</p>

開講日

2017/8/27,9/3,10(3日)

開始～終了時

10:00～18:00 (各7時間)

合計学習時間(PDU申請可)

21時間 リーダシップ:6
テクニカル:9
ストラテジ:6

費用(受講者選考手数料除く)

26,880円

受講をお勧めする人

PMP試験を考えており、受験対策として学習したい人。プロジェクトマネジメントの基礎やPMBOK入門と合わせて受験資格の35時間の学習を得られます。PMP取得者にはPDU取得にもなります。

講師

酒森 潔

プロジェクト・リスク・マネジメント

未来有る貴方の明日を創るため、リスク・マネジメントを役立てましょう。リスクは迷惑な厄介者だけでは有りません、仕事や生活の将来を明るくする好機でもあるのです。これらを予測し、とらえ、管理できるものです。この講座では豊富な実例を使用し、受講者が対応を考えるワークを通じ、実務に応用できる手法を実感してもらいます。

時限	内容
第2限	マネジメント概要と計画 ここでは、まず本来のリスクとは何かを考えていく。日本社会ではネガティブリスクの比率が過大に取り扱われ、ポジティブリスクに対する取り組みが弱く過小になり勝ちである。これを強化し、プロジェクトにも成果物にもより多く効果を取り入れるべきことを学ぶ
第3限	リスク特定 プロジェクトで発生確率の高いリスクを漏れなくリストアップすることはそう簡単なことではない。これを漏れ無く準備できていることが、プロジェクトの成否を握る重要項目の1つである。効率的なリストアップ方法を演習で学ぶ。
第4限	定性的リスク分析・定量的リスク分析 リスクは未来に発生する出来事であるだけに、対応に優先順位を付けて対応する。ここではリスク優先判定に適切なツールを使用し、各リスクを定性的分析と数値化をする定量分析を行うことで、対応計画作成が比較的容易に行える手法を学ぶ。
第5限	リスク対応計画とリスクのコントロール リスクが将来プロジェクト内で実際に発生した場合、どのような対応をとるか、予め、対応方法をリスク毎に予め決定して置く、ここではリスク毎に取り入れるべき対応方法の選別手法を人間心理や行動理論に従い実例を取り上げ学ぶ。

開講日

2017/9/2(土)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:0
テクニカル:6
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネジメントの基礎知識を持ち、プロジェクト業務従事者や管理者など、日常業務上でリスク対応スキルを実務上必要としている人及びPMP受験希望者

講師

竹政 一夫

イノベーションのための アジャイルプロジェクトマネジメントの基礎

熾烈な競争に勝ち残るために、企業はイノベーションが求められ、イノベーションを実現する多くのプロジェクトが立ち上がりつつあります。イノベーションとは、新しい顧客価値を生み出すための革新の事業活動で、スピードと変化に適應することが求められる。イノベーションを成功に導くプロジェクトマネジメント手法を学習します。

時限	内容
第2限	講義概要の説明と自己紹介：講義の目的と学習内容の解説し、講義内容に反映するために、受講者の要望事項を聴く。 イノベーション：イノベーションとは、イノベーションの必要性、イノベーション創出プロジェクトを理解する。 アジャイルの価値観と原則：アジャイルの出現の背景
第3限	アジャイルの価値観と原則：アジャイルマニフェストの価値観と原則を理解する。 スクラム手法を理解する。 アジャイルプロジェクトマネジメント：アジャイルプロジェクトマネジメントとは。
第4限	アジャイルプロジェクトマネジメント：アジャイルプロセス、ビジョニング、ユーザーストーリー、要求開発、リリース計画、反復プロセス、アジャイル事例を理解する。
第5限	アジャイル・ステークホルダーとその役割：アジャイルチーム、プロダクトオーナー、アジャイルプロジェクトマネジャー、自己組織的チーム、 アジャイル導入課題と対応策：アジャイル導入の阻害要因、導入方法

開講日

2017/9/9(土)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:1.5
テクニカル:4
ストラテジ:0.5

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントの知識があり、IT分野や製品開発における実際に活用できるアジャイルプロジェクト管理技術を習得しようと考えている人、およびその様な部下を持つ管理者

講師

竹腰 重徳



リアルタイムPMシミュレータ

本講義はリアルタイムにプロジェクトを実践できるソフトウェアツールを使って、ITプロジェクトの計画から実践までをゲーム感覚で体験します。ツールの実践を通じて、計画に基づくプロジェクト実践力や、判断力の養成をめざします。

回数	内容
第2限	本講義のガイダンスと簡単なPMの講義：本講義のガイダンスおよび、プロジェクトの基礎知識やクリティカルパスに関する知識の講義をおこなう。
第3限	シミュレータプロジェクトについての説明と計画作成：本講義で実施するプロジェクトシミュレータについてその目的や制約などについて説明し、あわせてステークホルダーマネジメントやリスクマネジメントの方法についても解説する。
第4限	シミュレータプロジェクト準備と前半の実行：最終的なシミュレータの設定を確認し、シミュレータの前半部分を実施する。プロジェクト実施に必要なPMとしての判断対応を実践する。またEVMによるプロジェクト管理にもチャレンジする。
第5限	シミュレータプロジェクト後半の実行と反省会：グループでシミュレータの前半部分の反省に基づき、後半部分の計画の見直しや戦略の策定をおこなったのち、後半部分を実施する。終了後実行結果について結果を分析する。

開講日

2017/9/18(祭)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:2
テクニカル:2
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントを
ゲーム感覚で短時間に体験
したい人
グローバルなプロジェクトマ
ネジャの判断や行動を理解
し実践したい人。

講師

酒森 潔

PMBOK®徹底読み解き

プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードである「プロジェクトマネジメント知識体系ガイド(PMBOK®ガイド)第5版」の概要を解説します。実際のプロジェクトの現場で活用されているプロジェクトマネジメントの知識体系としてプロセス、ツール、技法を理解できます。

回	内容
第1日	PMBOK®ガイド 第1章～第3章 ・PMBOK®ガイド 概要解説 ・プロジェクトとは何か、プロジェクトマネジメントとは何かを学ぶ ・プロジェクトを取り巻く環境の解説
	PMBOK®ガイド 第4章 ・プロジェクト統合マネジメントを学ぶ
	PMBOK®ガイド 第5章 ・プロジェクト・スコープ・マネジメントを学ぶ
	PMBOK®ガイド 第6章 ・プロジェクト・タイム・マネジメントを学ぶ
第2日	PMBOK®ガイド 第7章 プロジェクト・コスト・マネジメントを学ぶ
	PMBOK®ガイド 第8章～9章 プロジェクト品質マネジメント、プロジェクト人的資源マネジメントを学ぶ
	PMBOK®ガイド 第10章～11章 プロジェクトコミュニケーションマネジメント、プロジェクト・リスク管理を学ぶ
	PMBOK®ガイド 第12章～13章 プロジェクト調達マネジメント、プロジェクト・ステークホルダーマネジメントを学ぶ

開講日

2017/9/30(土),10/1(日)

開始～終了時

10:00～18:00 (各7時間)

合計学習時間(PDU申請可)

14時間 リーダシップ:2
テクニカル:10
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

17,920円

受講をお勧めする人

PMBOK®ガイドをじっくり読んでみたい方向けコース。プロジェクト管理について実務経験はあるが体系立てて知識を整理したことが無い人。PMP試験にチャレンジする人の学習の整理したい人。

講師

石井 浩靖/酒森 潔

受注プロジェクトの管理

グローバルなプロジェクトマネジメントの標準としてはPMBOK®が浸透してきましたが、日本の受注型プロジェクトには適応しないところが多々あります。たとえば、提案活動、収入の管理、利益管理などはPMBOK®のプロセスにはありません。本講義では受注型プロジェクトマネジメントについてPMBOK®との違いなどを含め解説します。

時限	内容
第1限	プロジェクトのオポチュニティマネジメントから受注まで（その1）： ・ベンダー企業のプロジェクト受注戦略とオポチュニティマネジメント
第2限	プロジェクトのオポチュニティマネジメントから受注まで（その2）： ・プロジェクト提案活動 ・プロジェクト受注活動（課題1 ステークホルダーマネジメント）
第3限	プロジェクト計画（その1）： ・提案書をもとにしたプロジェクト計画作成 ・プロジェクト計画の合意作業
第4限	プロジェクト計画（その2）： ・プロジェクトコスト計画 ・プロジェクトリスクマネジメント（課題2 プロジェクト提案価格策定）
第5限	プロジェクトの実行（その1）： ・プロジェクトの進捗報告
第6限	プロジェクトの実行（その2）： ・問題管理と変更管理 ・プロフィットマネジメント（課題3 顧客報告）
第7限	プロジェクトの終結（その1）： ・プロジェクトの終了基準の合意 ・プロジェクト終了処理
第8限	プロジェクトの終結（その2）： ・顧客満足度調査 ・自社内の契約終結手続き ・瑕疵責任と障害対応計画（課題4 リスクマネジメント）

開講日

2017/10/8(日),9(祭)

開始～終了時

10:40～18:00（各6時間）

合計学習時間(PDU申請可)

12時間 リーダシップ:2
テクニカル:8
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

15,360円

受講をお勧めする人

PMの基本を理解し、受注企業のPMとしてITプロジェクトを実行している人。
ユーザ企業の立場で発注プロジェクトを管理している人。
日本と欧米のPMの考え方を整理したい人。

講師

酒森 潔

システム開発プロジェクト管理

正規講義名【プロジェクト管理特論2】

本講義は体系化された情報システム構築プロジェクト管理の知識を網羅的に整理しながら、実務事例の紹介を多く取り入れて具体的なプロジェクト計画や管理の方法を学ぶことができます。15回の講義のうち7回はWebによるオンデマンド受講ですので忙しい方も効率的に受講できます。

回数	内容
第1回	講義概要の説明と受講者のスキル診断：講義の目的と学習内容の解説し、学生が講義選択の判断ができるようにする。
第2回	プロジェクトの立上の講義：日本における情報システム開発プロジェクトの特徴や、プロジェクトが生まれる仕組みについて解説する。（オンデマンド）
第3回	プロジェクトの立上のまとめと演習：
第4回	スコープ定義とスケジュール作成の講義：プロジェクトスコープの定義を行いWBSとプロジェクトスケジュール作成するまでを解説する。（オンデマンド）
第5回	スコープ定義とスケジュール作成のまとめと演習：
第6回	要員計画とコスト計画の講義：要員の投入計画を調整しながらスケジュールを確定しコスト計画を作成するプロセスを講義する。（オンデマンド）
第7回	要員計画とコスト計画のまとめと演習：
第8回	プロジェクト計画書完成に関する講義：品質管理計画やリスク管理計画について学びこれらを最終的なプロジェクト計画書としてまとめるプロセスを講義する。（オンデマンド）
第9回	プロジェクト計画書完成に関するまとめと演習：
第10回	プロジェクトの進捗管理の講義：プロジェクトの進捗情報を把握するための実績情報の収集方法やその分析方法について講義する。（オンデマンド）
第11回	プロジェクトの進捗管理のまとめと演習：
第12回	プロジェクトの実行管理の講義：プロジェクトを予定通りに進めるための変更管理、問題管理、リスク管理などの方法について講義する。（オンデマンド）
第13回	プロジェクトの実行管理のまとめと演習：
第14回	プロジェクトの終結・調達終結の講義：情報システムの移行計画や移行作業の管理、調達の終結やそのほかのプロジェクト終結作業について講義する。（オンデマンド）
第15回	プロジェクトの終結・調達終結のまとめと演習：

開講日

2017/10/7～11/25

開始～終了時

土曜1限(9:00～10:30) + Web

合計学習時間(PDU申請可)

22.5時間 リーダシップ:4.5
テクニカル:13.5
ストラテジ:4.5

費用(受講者選考手数料除く)

28,800円

受講をお勧めする人

情報システム開発の典型的プロジェクトマネジメントを学びたい人。高度情報処理技術者試験(PM)の受験を考えている人。時間を有効活用したい人(通学は土曜の9:00～10:30のみ)

講師

酒森 潔

実践プロジェクトマネジメント演習

プロジェクトマネジャーの育成には、多くのプロジェクトを体験することが良いとされています。しかし、いきなり自己流でプロジェクトに臨むのではなく、進め方を一通り学習した後、実プロジェクトに臨むべきです。チームで議論しながら模擬プロジェクトを実施することで、短期間で効率的にプロジェクトマネジメントを学びます。

回数	内容
第1日	模擬プロジェクトの実施の理解と提案書作成：チームのメンバーの自己紹介を行い、模擬プロジェクト実施について概要を理解する。受注業者からのRFPを理解する。記載内容だけでなく、自社の戦略や発注者のプロジェクトの背景、業界分析などを行う。提案に必要なプロジェクト計画を作成する。必要であれば顧客ヒアリングを行いRFPの理解を深める。作成したプロジェクトスケジュールをもとに、プロジェクトコストを算出し、リスクや社内戦略を加味して提案書を作成する。チーム内で上司レビューの模擬練習を行う
第2日	顧客への提案からプロジェクト計画作成：最終的な提案書を完成させ顧客へプレゼンテーションを行う。契約書が取れたらプロジェクト計画を確認し顧客と合意する。プロジェクトスコープを基に、WBS、スケジュールチャートを作成する。作成したスケジュールを基に要員のアサインを行う。要員や物資の外部調達計画を作成する。計画を確実なものにするために、早目に外部企業からの見積もりをとり契約を確定する。
第3日	プロジェクト計画書完成：これまでの作成したプロジェクト計画策定内容や、契約時の前提事項などを精査し、プロジェクトのリスクを検討する。また、プロジェクトの特徴や、発注者、自社の基準などを加味して、プロジェクトの変更管理手順を作成し顧客と合意する。さらに、プロジェクト活動の実施に必要なコミュニケーション計画やプロジェクトの品質管理方針を作成する。これまで作業をまとめプロジェクト計画書を完成させる。完成した計画を元にキックオフ会議を実施する。
第4日	プロジェクトの実施：計画書を基準にプロジェクトの進捗状況をEVMで検討し報告する。また、品質管理方針にしたがった品質状況の分析を行い必要なアクションをとる。さらに変更管理手順にしたがって変更管理をおこなう。変更要求の事例をもとに検討会を実施する。また統合テスト結果から進捗状況や品質を分析し、対応策を検討できるようになる。最終的に移行計画に基づいて受け入れテスト、移行作業をおこないプロジェクトを完了する。

開講日

2017/10/15,22,11/5,12(日)

開始～終了時

10:00～18:00（各7時間）

合計学習時間(PDU申請可)

28時間 リーダシップ:8
テクニカル:12
ストラテジ:8

費用(受講者選考手数料除く)

35,840円

受講をお勧めする人

情報処理システム開発を受注して実施するプロジェクトを、正しいプロセスで体験したい人。

プロジェクトにおける各種の判断やドキュメント作成を手本を見ながら実施したい人

講師

三好 きよみ／ 酒森 潔

事例研究

本講義はプロジェクトの事例を通して、ゴールに到達できなかった原因を掘り下げていきます。そして、プロジェクト遂行における課題の洗い出し、成功に導くためには何が重要なのかをグループでのディスカッションにより、体得していくことを目指しています。日頃と違うメンバーの考え方や知見は大変参考になるとご評価いただいています。

時限	内容
第2限	ITプロジェクトの特徴、成功確率の理解 <ul style="list-style-type: none"> 講義の目的と構成、および進め方について解説する 事例研究の対象となるITプロジェクトの特徴について解説する ITプロジェクトの一般的な成功確率を知り、失敗の原因について検討する 事例の読み解き方について学ぶ ITプロジェクトの成功／失敗要因とPMBOKとの関連を確認する
第3限	ITプロジェクトの概要、プロジェクトマネジャーに求められるスキル <ul style="list-style-type: none"> 一般的な事例を取り上げ、ITプロジェクトの概要を理解する プロジェクトマネジャーに求められるスキルについて理解する 経験と教訓の関係について解説する 教訓の残し方について検討する
第4限	事例1の研究と発表 <ul style="list-style-type: none"> 事例1についてグループ別に検討し、発表とディスカッションを行う お互いの発表から得られた気づきについて討議する グループ別に内容についての見直しを行う グループ演習の成果、および発表についての講評を行う
第5限	事例2の研究と発表、およびまとめ <ul style="list-style-type: none"> 事例2についてグループ別に検討し、発表とディスカッションを行う お互いの発表から得られた気づきについて討議する グループ別に内容についての見直しを行う グループ演習の成果、および発表についての講評を行う 講義全体を通じたまとめを行う 提出レポートについての解説を行う。提出時期は講義終了の1週間後を目安とする

開講日

2017/12/2(土)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:2
 テクニカル:2
 ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトにおける問題の整理、原因追及、問題回避策の策定の方法を事例を通じて学ぼうと考える人。
 事例研究で得られた知識を自ら関わるプロジェクトに役立てたい人。

講師

持田 敏之

プロジェクトマネジメントのツールと技法

正規講義名【プロジェクト管理特論3】

情報システム開発プロジェクトにおいて、ファンクションポイント、WBSとスケジュール、アーンド・バリュー・マネジメントなどのプロジェクト管理のツールや手法を理解し、実務で活用できるような実践的な演習をおこないます。

回数	内容
第1回	講義の目的とコンピテンシーの確認：本講義の目的、学習内容、課題、評価方法などの解説し、学生が講義選択の判断ができるようにする。また、授業内容に反映するために、受講者のPMコンピテンシーの確認アンケートを行う。
第2回	見積り手法：講義 見積り手の基本的な考え方と代表的な見積り手法であるファンクションポイント法について講義を行う。
第3回	見積り手法：演習 ファンクションポイント法を使った見積り手法について、実務で使えるための演習を行う。
第4回	見積り手法：講義 IFPUG法を使った実際にファンクション数を数える方法について簡単な例を使用し解説する。（演習に備えて課題を考えてくる）
第5回	見積り手法：演習 実務レベルのシステムでIFPUG法によるファンクション計測演習をおこなう。
第6回	スケジュール作成：講義 WBSとスケジュール作成に関する基本の講義をおこなう。
第7回	スケジュール作成：演習 ガントチャートの作成方法や、実務でスケジュールの進捗を表現する技法について演習で学ぶ。
第8回	スケジュール作成：講義 MS-Projectの基礎の基本的な操作方法の講義：MS-Projectの使い方を講義する。またウッドデッキ作成プロジェクトの課題を提示する。（各自宿題としてスケジュールを作成してくる）
第9回	スケジュール作成：演習 ウッドデッキ作成プロジェクト事例を使ってWBSやスケジュール作成の演習を行う。個人で作成してきたスケジュールをもとに、グループで議論する。
第10回	アーンド・バリュー・マネジメント：講義 EVMの基本的な考え方について講義する。
第11回	アーンド・バリュー・マネジメント：演習 簡単な演習を行いPMPや情報処理技術者試験レベルの基本的なアーンドバリュー計算ができることを目指す。
第12回	アーンド・バリュー・マネジメント：講義 WBSを利用して実務でVMを活用する方法について具体的に解説する。
第13回	アーンド・バリュー・マネジメント：演習 EVMとWBSを組み合わせた演習をおこないEVMの理解を深めるとともに、実務においてWBSの作成と組み合わせたEVMを使えるようになることをめざす。
第14回	品質管理技法 プロジェクト管理における品質管理の考え方を講義し、品質管理の基本的な考え方を学ぶ。
第15回	品質管理技法 システム開発における品質管理の代表例として、システムテスト時の障害管理をとりあげ、管理方法や報告方法の例を講義するとともに、事例に基づく品質分析と報告書作成の演習をおこなう。

開講日

2017/12/6～2018/2/7

開始～終了時

金曜7限(20:10～21:40)

水曜7限(20:10～21:40)

合計学習時間(PDU申請可)

24時間 リーダシップ:0
テクニカル:24
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

30,720円

受講をお勧めする人

FP、WBS、スケジュールリング技法、EVM、品質管理技法について基本的な知識を持ち、さらに高度な使い方を身に付けたい人
本学の正規講義を科目単位で受講してみたい人

講師

酒森 潔

プロジェクト・マネジャーのキャリアデザイン

「キャリアデザイン」とは、自分自身の職業人生を自らの手で主体的に構想・設計することをいいます。本科目では、プロジェクト・マネジャーとしての仕事を通じて、実現したい姿やそれに近づくプロセスを明確にしていきます。一般的なキャリア関連の理論を解説するとともに、演習を通じて自己理解を深め、自分の経験やスキル、性格、ライフスタイルなどを考慮した上で、キャリアデザインを行います。

時限	内容
第1限	<p>「キャリア」とは？「キャリアデザイン」とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア」「キャリアデザイン」について学習する ・演習を通じて、自分の能力についての自己認識を行う ・演習を通じて、自分のなりたい姿の自己認識を行う
第2限	<p>キャリア関連の基礎理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホランド、スーパー、サビカス、シャイン、クランボルツなどのキャリア関連の基礎理論を学習する
第3限	<p>プロジェクト・マネジャーに必要な行動特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト・マネジャーに必要な行動特性について学ぶ ・自分自身を評価し、課題を明確にするチーム・ビルディングの課題と対応策を考察する。 ・聴く力を身に着ける
第4限	<p>プロジェクト・マネジャーの成長プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際のプロジェクト・マネジャーの成長プロセスについて学ぶ ・成長していくための課題を検討する

開講日

2017/12/16(土)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:6
テクニカル:0
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネジャーとして、キャリアアップしていきたい方、プロジェクト・マネジャーの育成を担当している方

講師

三好きよみ

IT経営プロジェクト

企業活動にとって、ITはなくてはならない基盤です。企業経営が戦略的に進められると同様にIT構築も戦略的に進めなければなりません。この講義では、座学、演習と発表を通じて、全体最適化と戦略的思考法を身につけることを目指します。

日	内容
第1日	座学「はじめに」、「経営改革の必要性」 講義（座学、演習）の進め方、ショートレポートの提出方法、成績評価のしかたを説明する。企業とは何か、ミッションとビジョン、経営改革の必要性について
	演習「SWOT分析、あるべき姿の設定とCSFの抽出」 経営改革メンバーとして、対象企業の強みと弱み、外部環境から認識される脅威と機会を分析する。
	演習と発表「経営戦略企画書の承認」 経営改革メンバーとして、現状分析を踏まえ、対象企業のあるべき姿を事業ドメインとして表現し、更にそれを実現するためのCSF（主要成功要因）を抽出し経営改革目標値を決定する。
第2日	座学「IT戦略策定」 企業にとって、あるべき姿を実現するためには、ITの必須の要件である。経営戦略を継承し他の戦略と連携を持ったIT戦略の策定方法を説明する。
	演習「IT成熟度評価と業務プロセスの改革」 対象企業のITガバナンスを評価し、抽出したIT課題の実現のための業務プロセス改革（To-Be業務フロー、DMM-DFD、UMLなど）を図式化する。
	演習と発表「IT戦略企画書の承認」 IT戦略企画書を作成し、経営陣に対する発表を行い、承認を得るためのロールプレイングを行う。
	座学と演習「IT資源調達」 IT戦略実現に向けた最適なIT調達を実施するための方法、CMMI等について説明する。
第3日	演習と発表「RFP作成と提案評価基準設定」 発注企業としてRFP作成と提案評価基準設定を行い、発注企業として評価基準に基づく評価を行う。
	座学と演習「ITサービス導入」 経営改革プロジェクトおよびITシステム開発プロジェクトを対象に、プロジェクトマネジメントの意義とプロジェクトマネジャーに必要な要件を説明する。
	演習と発表「ITサービス導入における諸問題と対応」 引き続き、ITサービス導入時に発生する諸問題について演習を行う。「プロジェクトに発生する諸問題」について発表し質疑応答する。
	座学「ITサービス活用とIT経営」 経営改革プロジェクトおよびITサービス活用を対象に、活用における諸問題について演習を行う。
	学生発表「IT経営のまとめ」 本科目を履修して獲得できた知識・スキル・気づきについて発表する。

開講日

2018/1/6,13,20

開始～終了時

10:40～18:00

合計学習時間(PDU申請可)

18時間 リーダシップ:4
テクニカル:6
ストラテジ:8

費用(受講者選考手数料除く)

23,040円

受講をお勧めする人

企業経営、戦略立案、チーム活動、アイデア発想法・収束法(BS、KJ法、SWOT分析)、コミュニケーション、プレゼンテーションなどに興味を持ち学びたいと思っている人。

講師

山戸 昭三

パーソナルスキル1 コーチング&メンタリング

本科目は、プロジェクト・マネジャーに必要なパーソナル・スキル（ファシリテーション、コーチングとメンタリング）について基本のプロセス、必要なスキルを学びます。パーソナルスキルは知識を理解しただけでは、なかなか実践が難しいので、講座の中でも演習やケース・スタディーを多数実施して、実践的に身につけていきます。

時限	内容
第1限	講義概要とファシリテーションの概要：ファシリテーションの基本プロセスとスキル、キックオフや進捗会議などの場面におけるファシリテーションの実践など。
第2限	コーチングとメンタリングの概要：コーチング&メンタリングの基本プロセスとスキルとプロジェクトメンバーの動機付け。
第3限	コーチング&メンタリングとファシリテーションの実践演習：プロジェクト事例に基づいて、立ち上げ、計画、実行、監視コントロール、終結の各フェーズで、パーソナルスキルを活用する場面を設定し、実践演習を行う。
第4限	同上

開講日

2018/1/27(土)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:6
テクニカル:0
ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクト・マネジャーに求められるパーソナルスキルの中で、重要なスキルであるコーチングとメンタリングについて、基本的なプロセスを理解し実践で活用できるようになりたい人

講師

濱 久人

パーソナルスキル2 コミュニケーション・ネゴシエーション

コミュニケーション、リーダーシップ、チーム・ビルディング、コンフリクト・マネジメント、プレゼンテーションなどのスキルはプロジェクトを成功に導くためにプロジェクト・マネジャーが身に着けなければいけない人間術です。本コースでは、現場で実践できるヒューマン・スキルの極意を講義と体験学習を通して学びます。

時限	内容
第1限	コミュニケーション・マネジメント ・プロジェクト・マネジャーの仕事の大部分を占め、プロジェクトの成否を左右する、コミュニケーション・スキルについて学ぶ。 ・効果的なコミュニケーションは何かを、ケーススタディーを用いて実践的に会得する。 ・PMBOKの知識体系である、コミュニケーション・マネジメントについて学ぶ。 ・ステークホルダー・マネジメントについて学ぶ。
第2限	コンフリクト・マネジメント ・プロジェクトで日常的に起こる コンフリクトへの対応方法、ネゴシエーションについて学ぶ。 ・ケーススタディーとロールプレイで、交渉術を実践的に学ぶ。
第3限	リーダーシップとチームビルディング ・多様性チームを引っ張っていくリーダーシップ・スタイル、チーム・ビルディングの仕組みについて学ぶ。 ・ケース・スタディーで、チーム・ビルディングの課題と対応策を考察する。 ・聴く力を身に着ける
第4限	プレゼンテーション：ストレスマネジメント ・効果的なプレゼンテーションとはなにか、を学ぶ。 ・実際にスピーチ行い、インタラクティブに学習する。 ・プロジェクト・マネジャー自身とメンバーのストレスにどう対処するかを体験的に学ぶ

開講日

2018/2/3(土)

開始～終了時

10:40～18:00(2限～5限)

合計学習時間(PDU申請可)

6時間 リーダシップ:6
 テクニカル:0
 ストラテジ:0

費用(受講者選考手数料除く)

7,680円

受講をお勧めする人

プロジェクトマネジメントに必要なヒューマン・スキルを体系的に修得したいと考えている人。特に、コミュニケーション、コンフリクトマネジメント、リーダーシップ、ネゴシエーションを学びたい人

講師

永谷 裕子

情報処理技術者プロジェクトマネージャ 試験対策コース

情報システム構築におけるプロジェクト管理の進め方を、情報処理推進機構が発行している「高度情報化人材育成標準カリキュラム プロジェクトマネージャ」を基準に学習します。この知識をもとに情報処理技術者試験の午後1および午後2の試験での質問の考え方や解答の方法を指導し、試験に合格することを目的とします。

日	内容
第1日	プロジェクトの立上の講義：日本における情報システム開発プロジェクトの特徴や、プロジェクトが生まれる仕組みについて解説する。
	スコープ定義とスケジュール作成の講義：プロジェクトスコープの定義を行いWBSとプロジェクトスケジュール作成するまでを解説する。
	要員計画とコスト計画の講義：要員の投入計画を調整しながらスケジュールを確定しコスト計画を作成するプロセスを講義する。
第2日	論述式試験の内容と、解答のポイントを指導する。簡単な論文の書き方の演習を行う
	プロジェクト計画書完成に関する講義：品質管理計画やリスク管理計画について学びこれらをプロジェクト計画の中に加味し最終的なプロジェクト計画書としてまとめるプロセスを講義する。
	プロジェクトの進捗管理の講義：プロジェクトの進捗情報を把握するための実績情報の収集方法やその分析方法について講義する。
	プロジェクトの実行管理の講義：プロジェクトを予定通りに進めるための変更管理、問題管理、リスク管理などの方法について講義する。
	情報処理技術者試験午後1：記述式試験の問題の解答方法を講義し、過去問題を使った演習を行う

開講日

2018/2/17(土), 2/24(土)

開始～終了時

10:40～18:00（各6時間）

合計学習時間(PDU申請可)

12時間 リーダシップ:2
テクニカル:8
ストラテジ:2

費用(受講者選考手数料除く)

15,360円

受講をお勧めする人

情報処理技術に関する基本的な知識があり、高度情報技術者PM試験合格を目指す人。教科書やグローバル標準のPMの知識を、どのようにプロジェクトに適応していくか学びたい人

講師

酒森 潔

申込みに関する情報

	ユニット1	ユニット2	ユニット3
願書受付 期間	平成29年7月6日（木）から 平成29年8月3日（木）まで ※事前審査は7月19日（水）まで	平成29年8月9日（水）から 平成29年9月15日（金）まで ※事前審査は8月29日（火）まで	平成29年10月16日（月）から 平成29年11月16日（木）まで ※事前審査は10月31日（火）まで
開講期間	平成29年 8月19日（土）から 平成29年10月1日（日）まで ※平日夜間、土曜及び日曜に開講	平成29年10月7日（土）から 平成29年12月2日（土）まで ※平日夜間、土曜及び日曜に開講	平成29年12月6日（水）から 平成30年2月24日（土）まで ※平日夜間、土曜及び日曜に開講
受講料	7,680円～85,760円 ※選択科目数により異なります。	7,680円～87,680円 ※選択科目数により異なります。	7,680円～92,160円 ※選択科目数により異なります。
定員	各20名 ※ 申込者僅少の講義は開講しない場合があります。		
出願資格	日本の大学を卒業した者等 ※ 海外の大学を卒業された方や十分な実務経験を持つ方は出願資格の事前審査により出願が認められます。詳しくは、募集要項をご覧ください。		
選考	書類審査により行います。 受講者選考手数料（9,800円）を添えて出願してください。		

募集要項および願書の請求は下記にご連絡ください。無料で送付いたします

産業技術大学院大学 管理課教務学生入試係

〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 電話：03-3472-7834

E-mail：info@aiit.ac.jp URL：http://aiit.ac.jp